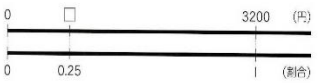
４　本時のねらいと展開　（６／１０）

本時のねらい	定価から値引きされた値段を割合をもとに求める活動を通して，何を比較量とするのかによって式が変わることに気付き，基準量とその割合から売値を求める方法を説明することができる。

本時働かせる主な見方・考え方
値引きする金額や売値を比較量として捉え，値引きされた値段の求め方を筋道を立てて考える。

課程	学　習　活　動	研究内容に関わって
自己の追究	１　問題を提示する。 定価 3200 円のリュックサックが 25%引きで売られています。リュックサックの値段は，いくらでしょう。 ・定価の 25%引きだから，定価を「もとにする量」として考えるといい。 ・ねだんは定価の 25%引きだから，3200 円より安くなりそうだ。 ２　課題をつくる。 【課題】値引きされた値段を求める方法を説明しよう。 ３　個人で追究する ㋐  定価の 25%は，3200×0.25＝800(円) 3200－800＝2400　　答え 2400 円 ㋑ 定価の 25%引きは，定価の(1－0.25)倍 3200×(1－0.25)＝3200×0.75 ＝2400　答え 2400 円	**自己の追究** ・定価を「もとにする量」と確認した後，定価の 25%引きを図で示しながら確認することで，答えの見当をもたせ，立ち返られるよう板書に位置付ける。　【研２－①】 ・数量関係を数直線図に表すことができない児童には，数値も記してある数直線図をヒントカードとして配付し，追究の支援をする。　【研２－①】
仲間との練り合い	４-①　グループ（４人班）で追究する。(ねらい：なっとく，方法：書き込み) （㋐の考えに対して） ・3200×0.25 で，定価の 25%の金額を求めて，定価から引けば良い。 （教師から，㋑の考えを提示） ４-②　グループ（４人班）で追究する。(ねらい：理由見つけ，方法：書き込み) （㋐と㋑の考えに対して） ・1－0.25 で，定価の 25%引きの割合がいくつになるか求めている。 ・㋐の考えは，値引きする金額を比べる量として考えているけど，㋑の考えは，値段を比べる量として考えている。 ５　全体で追究する。 ＜深めの働きかけ＞ ○「0.75 って何のことだろう？」 ・今，求めたい「値引きされた値段」の割合のこと。	**仲間との練り合い** ・４人班での追究の中で，教師から問いかけられた㋑の考え方の根拠を練り合うことで，比較量の捉え方によって式が変わることに気付く手立てとする。【研２－②】 ・深めの働きかけにおいて，0.75 の意味を問うことで，割合を求める式への理解を深め，本時のねらいに迫る。　【研２－③】
自己の変容の自覚	６　学習をまとめる。 何%引き値段を求めるには，定価－（定価×□）か，定価×（1－□）で求めることができる。 ７　学習を振り返る。 （１）本時学習した㋐と㋑の考えのどちらかを，ペアで説明し合う。 （２）個で評価問題に取り組む。 定価 2000 円のくつが 10%引きで売られています。くつの値段は，いくらでしょう。 ・2000×(1－0.1)＝1800　　答え 1800 人 ・2000×0.1＝200　よって，2000－200＝1800　答え　1800 人 （３）本時を振り返る。 ・『最初は，25%を定価にかけて値引きする金額を求めないといけないと思っていたけど，仲間の意見を聞いて，先に割合を求めると一つの式で求められることが分かりました。』	**自己の変容の自覚** ・比較量の捉え方によって，式が変わってくることを理解し，割合をもとに値引きされた値段を求めているか見届ける。【研２－④】 **終末で目指す姿**（評価規準） 値引きされた値段の割合がどれだけになるか求めるなどして，もとにする量とその割合から値段を求められます。 【数学的な考え方】